

日刊 磐城時報

編輯部 石城郡平町新屋町十四
印刷部 石城郡平町新屋町十四
電話 二一四
代印部 石城郡平町新屋町十四
電話 二一四
廣告部 石城郡平町新屋町十四
電話 二一四
訂金部 石城郡平町新屋町十四
電話 二一四
電話 二一四
電話 二一四

金成氏の當選祝賀を兼ね 議會報告演說會

十月初旬平町で 石城政友會總集會

石城政友會では二十一日午後一郡下小學校教員軟式野球大會は時から平町大村屋旅館で幹部會二十三日平第一、平南兩球場に開き協議の結果十月初旬開議開くが、本年は平第一が優勝候補に於て總會を開催し役員改選補と目されてゐる。

選舉名簿の 平町區長會

平町では来る十五日現在で調製する町會並に衆議院議員選舉有権者名簿につき前回の町議改選に有権者の資格問題で二三有志から騒がれ苦い經驗をなめたので鑑みて今年には明春に改選を控へてのだけに一層調査を厳密になした上調製することに近う交渉する事になつた。

教員野球大會 石城

石城郡小學校教員軟式野球大會は二十一日午後一郡下小學校教員軟式野球大會は時から平町大村屋旅館で幹部會二十三日平第一、平南兩球場に開き協議の結果十月初旬開議開くが、本年は平第一が優勝候補に於て總會を開催し役員改選補と目されてゐる。

磐越銀行の齊藤 四萬八千圓を横領

平支部の豫審で判明 近く第一回の公判

平町番匠町十九番地元磐越銀行になつたが、齊藤は大正十一年預金係齋藤廣吉(五二)に係る業より昭和四年三月に至る間平町務上横領罪は爾來平支部藤原豫越銀行の預金係として勤務中審判事係りで審理中の處十九日自己取扱いに係る預金中より四有罪と決定公判に移され近日こ四萬八千圓を横領費消したものが第一回の公判を開かれる事、これに原因して同銀行は今

日破産の状態に立至つたものであるといはれ、横領金の大部は花柳界方面にバラ撒かれたものである。

新川改修 準備打合

平町外二ヶ村の新川水害豫防組合では二十一日午前九時から平町役場會議室において來月早々各種團休事務所に講習會を開く事について種々協議したが、今ため五日から十日まで郡内數ヶ回の同工事は平町が主となつて所て活動寫真映賞會を催す。

小名濱消防の紛擾 町長の調停で解決

無條件で小濱組頭留任 六七日町目で 五十八圓寄附

小名濱消防組は組員四十餘名が結束して組頭小濱長太郎氏の排斥運動を起し紛擾中で警察署長も手を焼いてゐたが、過般組長も小名濱町長が調停に立ち解決した上調製することに近う交渉する事になつた。

平署武道選手

全國石城郡江名町少年消防隊並に少警察官の武道大會が近く東京に年赤十字團では奉仕事業として開かれるので本縣からは柔道五火の用心の宣傳をなす外神社佛名、劍道五名出場の筈であるか關の掃除、路上の危険物除去等平署より柔道部草刈部長、劍道を行ふ事となつた。尚ほ夏期中部十二所部長、荒井巡查の三氏催はした蠅取りデーには四萬二千九百二尾の蠅を捕へた。

平商校の縣移管 知事の視察で好轉か

平町でも猛運動を起す

平町の上水道擴張工事竣工式に臨んだ赤木知事は式終了後十九日午後四時伏見町長、井上縣議外有志の案内で町立平商業學校に至り學校の設備その他を詳細視察したが、同校は一昨年五年制度の認可を得ると共に縣に移管すべしと一部から提唱され町當局も大いに食指を動かして縣へ運動を試みて居たので知事の同校視察は移管問題が大いに促進されるものとなして有志連中は今後實現に向つて猛運動を開始する事になつた。

四名の癩病患者 四倉町役場に縊る

本籍仙臺市元寺小路五三番地原帯を吊して縊死を遂げたが、老田久一(三三)原田幸吉(二九)岩波と家庭の不和を悲觀したため同市新一郎(二九)の四名は何れも癩病患者であるが、二十一日午前十時頃四倉町役場を訪れは醫師を呼び手當を施した上旅費を與へて去らせた。

平町甲種合格者

平町昭和七年度壯丁中甲種合格者は左の如く決定夫々通知した

- ▲步兵 椋木三郎、松崎喜一、大野末七、小林治、佐々木正雄、小野寺文平、酒井孝一、會川正雄、有坂榮吉、永島道雄、原田宗三郎
- ▲野砲兵 柳下重男
- ▲輜重兵 猪狩源一、渡邊正雄

家庭の不和を 悲觀して縊死

四倉町宇志津一四九番地渡邊善吉(七〇)は昨二十一日午後七時頃自宅三疊の納戸に入り天井に

「金」の暴騰で 質屋さん思はぬ儲け

秋！秋！吹く野分の風は緑を奪つて冬への行進だ。こ平町の夏物商業戦線は期待した程の採算もなく全貌的に衣替へされた町内各商店に詰め替へされた秋から冬にかけての商品が平均約一割高に正札が付替へられてゐることだ。素ばしッとい商人達は商品の騰氣は巨款景氣で差引が出来る

米價値上

平町米穀商組合では十九日から市内の小賣値を一キロ五厘値上を行つた改正値左の如し

- 上白一キロ十六錢五厘、中白十六錢、並白十五錢五厘。

熊野神社改築

仲間町熊野神社は腐朽甚だしいので國民がそれ、釀金し工費千五百圓で年内に改築することになつた。

一ムの鍋まで質種にされたといふまで持ち込まれたが九月を機にグッと質出が増加しました。その代り夏ものが身代りにされる向もあるが、極端に減つてゐる。秋の貯蓄は、今度の黄金狂時代がことごとく吸収してその利鞘ばかりで平の質屋の利潤はザツと一萬圓にのぼるだらうとの事。兎に角四季の移り變りにつれて幾多の儲け話や、涙なしには聞けぬ話を作つて秋はいよ／＼深まつて行く。

- ▲步兵 須藤末松、出羽義雄、山崎茂次郎、山中彌平、山形友吉、▲工兵 門馬止三、新井喜代治、▲電信兵 鈴木庫次郎、▲山砲兵 片寄清治、▲輜重兵 特務兵 山野邊昇、吉田兼吉、▲水兵 古河竹松
- ▲主計兵 久保木子之吉
- ▲第二乙種 長谷川芳太郎、長谷川榮吉、本多春五郎、竹永茂雄、國玉繁太郎、榎木金次、永井金太郎、長谷川文太郎、鈴木好松、塩田善一郎、鈴木榮、菅波民彌

電話新設
二九八番

右新設致しましたから御利用願上ます

有隣生命保險平代理店
東洋白土會社常磐販賣部

佐々木龍若
平町四軒町一八

世界の名湯國立療養所の所在地

別府の天然家庭温泉

命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變りません
一、萬病に靈驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で
湯治の出来る重寶な家庭温泉
一、従来の浴劑を斷然優越せる新發見劑
一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化
する理想的浴劑

疲勞回復 健康増進の鍵
病魔征服 傳染病豫防の武器

眞の温泉療法は若葉の三四月から夏に於て最も有効な時期です、是非御試用願ひます。

六回分 (二日使用) 十二日分) 五十錢
十四回分 (同) 廿八日分) 一圓
三十四回分 (同) 二ヶ月八日分) 二圓

平町四丁目

命の洗濯代理店 小野屋藥舖
電話一四四番

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五改(電話一八一番)

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

吸入用酸素 純度 99%

モノサシ
マス
ハカリ
体温器
寒暖計

關内藥局
電話四〇番

廣告

新任外科部長
内木學士來任

圖七月十一日ヨリ毎日診療ニ從事ス

内臓外科 醫學士 内木宗八
整形外科 泌尿器科
昭和七年七月

平町新川町十九番地

木村病院
電話一六四番

病室完備

平町南町

専門 X光線科

上田外科醫院
電話一二九番

入院應需

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科

藤沼醫院
平町紺屋町
電話平園五〇七番

かまぼこ

折詰仕出し

御惣菜用さつま揚、吉原揚

平町二丁目

藤市蒲鉾店
電話三〇五番

油と味の合

山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番

横濱植木株式會社特撰

草花、蔬菜類

優良種子

各種賣出し致しました。

農園藝藥品の御相談は

西村屋藥局
電話三番

祝 四倉漁港
修築起工

合名會社

加登屋吳服店
新町 電話十二番

銘酒 山中酒店
新町 (電呼) 一四一

和洋酒類 麴屋商店
仲町 電話十四番

武藏屋吳服店
仲町

文具 金海堂
四倉仲町

四倉活版所
本町

夏井裁縫店
本町

博善社
四倉本町

炭屋商店
本町 電話一二五番

大須賀商店
仲町 電話一〇三番

藤本峰太郎
四倉驛前

藤家角馬
四倉町志津

渡邊熊藏商店
四倉本町